

英語教師のお助けマン GlobalvoiceEnglish3

東京女子医科大学 看護学部
教授 木村みどり 様



GlobalvoiceEnglish3

ここ数年間、Globalvoice English のソフトに大変お世話になってきました。私の学部では、常勤の英語のネイティブの教師がおらず、きめの細かい音声指導や教材づくりができない、という環境です。そこで活躍しているのが、このソフトです。私は、主に3つの目的に使用していますが、特に3（GVE3）になってさらに良い教材作りができるようになりました。

1つ目は、英語のリスニング・テスト問題作成です。このソフトに出会う前までは、テープやCDの音声を切り貼りして編集し、応用問題の時には、自分の音声を吹き込んで、．．と、手間も時間もかかり、大変苦労しておりました。ところが今では、英文さえ用意できれば、それらをソフトに入れ、会話文も自由自在に自然な英文の作成できるようになりました。特にGVE3になって話者の数が増えたためにバラエティに富んだ会話を作成できますし、会話文の問題に対して別のネイティブの質問者を用意することができるようになりました。さらに読上げの音質も一段と向上し教材の質も高まりました。

2つ目は、看護の英語論文の読み上げです。看護の専門用語は、学生にとって発音が難しく、一々音声付きの辞書を引きながら苦労して読む、というのが現実でした。アメリカのジャーナルから取った論文の音声ファイルを授業で披露しましたら、その性能にネイティブの先生も驚かれました。GVE3ではイギリス英語も含めれば英語話者が4人いますので、論文の内容に合わせて話者を選択できます。この授業は大学院生を対象としているのですが、このような学習方法は国際学会で発表する時の練習にもなりますので、看護の専門の先生方にも活用をお勧めしています。（写真1）

3つ目は、プレゼンのスピーチ原稿です。自分で書いた原稿にもかかわらず自信なさそうに発表していた学生が、自分の原稿の音声ファイルを作成することによって、発表前に自信を持って練習することができ、満足な発表ができるようになりました。特に、GVE3では、ポーズが入れやすかったり、速度も調整しやすく、各学生の能力に合わせた音声ファイルの作成が簡単にできるようになり、大変重宝します。（写真2）

このソフトの利点は、英文を全て読み上げるので、自分が思いこみで間違っていた単語の発音に気づかされること、特に、自分が書いた英文では、自分が読んだ時とソフトが読んだ時の違い、発音は勿論のこと、音のつながりや脱落、などが顕著にわかることです。また、聞いて分かりやすくするために、音声ファイルのポーズやピッチを操作できます。つまり、個々の学生や学習内容にふさわしい音声ファイルが作成できる事です。 このように、教師の行き届かない部分を、猫の手ならず、GVE3 の手を借りて授業の効果を上げるよう努力しています。

[2010.12.09]



東京女子医科大学

<http://www.twmu.ac.jp/>